

## プロジェクトコンセプト

### まちに開かれまちとつながる地域交流拠点

「歩きたくなる」まちとして地域を盛り上げる、

まちに開いた365日県民・市民でにぎわう、自然と立ち寄りたくなるアリーナ

## 整備イメージ



## 配置、平面計画

### ○配置計画上の配慮

- ・歩行者動線と関係車両動線を明確に分離した、安全な動線計画
- ・周辺の住宅地からの距離を確保したアリーナ配置
- ・住宅地への車両の出入りを抑えた、荒川沿いの駐車場配置

### ○アリーナ設計上の配慮

- ・日常的な利用を想定し、広場に面してエントランスホールやサブアリーナ、ショップ等を整備
- ・周囲に音が漏れにくい、鉄筋コンクリート造の外壁

### ○防災上の配慮

- ・災害時における帰宅困難者や物資の一時集結等の役割を担うアリーナ
- ・大地震時の損傷を抑えることを目標とした、耐震安全性Ⅱ類のアリーナ

- ・プロスポーツやコンサートをはじめとした様々なイベントの開催を通じて、立地を活かした集客を図ることで、まちなかににぎわいを創出する。
- ・広場に面して、エントランスホールやサブアリーナ、ショップ等を整備し、日常的に開かれた施設とすることで、多様な人々、多世代の人々の地域交流拠点とする。
- ・他にはない独自の演出で福井らしさを創出し、中規模でもキラリとひかるアリーナを目指す。
- ・北陸新幹線福井開業によりできた人流をさらに福井県全域に波及し、にぎわいの風を巻き起こす。



# 福井アリーナ（仮称） 整備・運営に関する事業計画（案）〈概要版〉

## ① アリーナの概要

名称：福井アリーナ（仮称）  
 計画地：福井市東公園内  
 延床面積：約13,000㎡  
 建築面積：約8,250㎡  
 施設規模：メイン・サブアリーナ、その他付帯設備：V I P機能、大型映像装置、音響、演出照明装置、他  
 席数：プロスポーツ時 約5,000席  
 コンサート時 4,500席  
 利用想定：スポーツ（Bリーグ等）、ライブ、コンサート、MICE（セミナー、コンベンション、展示会等）、県民・市利用（地域行事、学校行事、部活動、スポーツ少年団、県民・市民スポーツ）

## ② 整備・運営方針

### 【にぎわいの創出】

○「福井ブローウインズ」のホームアリーナを想定し、新B1基準を満たすよう計画

### 【多世代交流の促進】

○プロスポーツ、コンサート等の開催により、県内外の多世代が集い、交流できる県都にふさわしい施設

### 【防災機能への貢献】

○災害時における帰宅困難者支援や物資の一時集結の役割を担い、地域の防災機能を強化

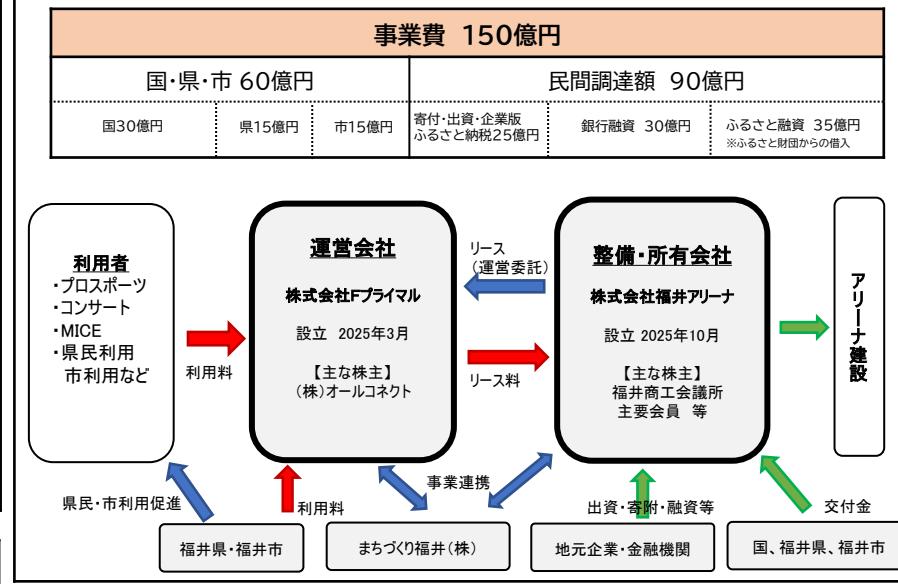
### 【地域共生の推進】

○周辺の良好な住環境の維持・保全に最大限配慮

### 【コスト意識の徹底】

○最低限の機能で計画し、床面積を最小化。構造的にも維持管理において最も合理的かつローコストな計画

## ③ 事業費・運営スキーム



## ④ 事業収支計画

運営会社		整備・所有会社	
【収入】	単位:百万円(税別)	【収入】	単位:百万円(税別)
メイン・サブアリーナ等使用料	246	リース料	290
VIPフロア使用料	118	寄附・協賛	200
県民利用料	164	ふるさと融資保証料支援	40
市利用料	70	合計	530
広告収入	52		
売店・自販機等収入	74		
合計	724		
		【支出】	単位:百万円(税別)
リース料	290	設備メンテナンス費	10
運営・維持管理費	265	保険料	15
広報費	15	固定資産税	70
VIP原価	83	修繕・積立金	50
売店等原価	55	支払利息	52
合計	708	ふるさと融資保証料	40
税引前利益	16	諸経費	11
		合計	248
		減価償却前利益	282

## ⑤ 利用想定

用途	日数	備考
県民利用 市利用	134日+ $\alpha$ (県民115日+市19日)	地域行事、学校行事、部活動等
M I C E	60日+ $\alpha$ (36日+準備24日)	セミナー、コンベンション、展示会等
プロスポーツ	63日+ $\alpha$ (32試合+準備31日)	Bリーグ (Vリーグ、Tリーグ)
コンサート	24日+ $\alpha$ (12公演+準備12日)	国内外アーティスト
メンテナンス	15日	
合 計	296日+ $\alpha$	—

## ⑥ 経済波及効果

### 波及効果：年間 61億円

※福井県産業連関表による試算結果

○年間来場者見込：39万人

○来場者による入場料や交通、飲食・物販、宿泊等による駅周辺・県内の消費額：年間48億円

## ⑦ 整備スケジュール（案）

令和8(2026)年1月頃～：実施設計  
 令和9(2027)年1月頃～：建設工事  
 令和10(2028)年秋頃～：完成予定